

2020 新年のごあいさつ

日光市長 大嶋 一生



明けましておめでとございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より市政に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市長として市政をお預かりさせていただいてから、1年8カ月が経過しました。

私は就任以来、日光市をしっかりと継承し、次世代につないでいくため「強く、優しい、人が輝く日光」創りを目標に掲げ、市政経営に取り組んでまいりました。現在、当市の財政は厳しい状況ではありますが、この目標を実現させるためには現状をしっかりと把握し、未来を見据えた戦略を立てていくことが重要であると捉えております。

そして、私の最大の使命は、この日光市を、子や孫の世代に過度な負担を残さず、持続可能なまちにすることです。このため、行財政改革を着実に進め、人口減少対策をまちづくりの重点施策とする第2次日光市総合計画を推進することで、市民の皆さんが生き生きと輝いて暮らせるよう、全力で市政経営に取り組んでまいります。

さて、新庁舎での業務がスタートし、1年が経過いたしました。新庁

舎は市民の皆さまの憩いや、交流の場としてご利用いただくことができます。未永く市民の皆さまに愛され、大いに活用されますことを、心より期待しております。

また、新庁舎は災害発生時には、情報発信などの防災の中枢機能を果たす設備を有しています。近年、日本各地で地震や集中豪雨など、自然災害が多発しております。昨年10月の台風第19号に伴う豪雨では、日光市内におきましても、床上・床下浸水などの被害の他、鉄道や道路などのインフラや農地・水路などに大きな被害がありました。改めて被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

市ではこうした状況を踏まえ、早期の復旧に努めるとともに、「災害は必ず発生する」ことを念頭に、市民一人ひとりの「いのち」を守ることを最優先に災害への対応に取り組んでまいります。

また、昨年は高齢者ドライバーの事故が大きなニュースになりました。市では高齢者を中心とした交通安全教室の開催や、高齢者の運転免許証自主返納を進めるとともに、「安全装置搭載車購入費助成事業」をいち早く導入いたしました。今後も交通事故防止に向けた安全対策に取り組んでまいります。

観光においては、JRグループが栃木県内の観光地を全国的にPRする「ステイネーションキャンペーン」(以下、「DC」)が、平成29年から令和元年までの3年間で「プレDC」「DC」「アフターDC」として実施され、多くの観光客の方に日光を訪れていただきました。平成29・30年には2年連続で観光客が、200万人を超えるなど、大きな成果が得られました。今後も、醸成された地域の連帯感を大切に、さらなる誘客へつなげてまいりたいと考えております。

11月には「日光ニ荒山神社」「日光東照宮」「日光山輪王寺」とこれらを取り巻く文化的景観から成る「日光の社寺」の世界遺産登録20周年を記念し、「第6回世界遺産サミット」を日光市で開催いたしました。「日光の社寺」の価値を再認識するとともに、全国からお越しの多くの方々に日光の魅力を感じていただくことと思います。

また、民間調査会社「ブランド総合研究所」が毎年行っている「地域ブランド調査」の魅力度ランキングにおいて、昨年は国内1,000市区町村のうち日光市が10位にランクされ、初めてトップ10入りを果たしました。

今後も、日光市の魅力を発信し、

「日光市を訪れたい」「日光市に来てよかった」そして「また訪れたい」と思っていただけるまちづくりを進めてまいります。

今年「東京2020オリンピックピック・パラリンピック」が開催されます。日光市におきましても、3月30日に世界遺産「日光の社寺」周辺をコースとしてオリンピックの聖火リレーが行われる予定となっております。世界平和の祭典であるオリンピックの聖火が、日光市内を駆け抜けることは非常に光栄で喜ばしいこととあります。

さらに、2022年には「いちごいちえ」とちぎ国体」が開催されます。これらを契機に日光市民の「日光プライド」と「おもてなしの心」のさらなる醸成につなげてまいりたいと考えております。今後ともより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、元号が令和に変わり初めての正月を迎えました。この輝かしい新年の門出にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



令和元年日光市の主な出来事

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|--|---|--|--|--|--|---|
| 12月 | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
| <ul style="list-style-type: none"> 全日本アイスホッケー選手権、H.C.栃木日光アイスバックス優勝(8日) 市駅伝競走大会(15日) | <ul style="list-style-type: none"> 日光そばまつり2019(15~17日) 世界遺産サミット(21・22日)：③ | <ul style="list-style-type: none"> 第二いろは坂の一方通行化開始(1日) 国体ホッケー成年男子の部、県選抜優勝 少年男子の部、今市高等学校優勝(3日) | <ul style="list-style-type: none"> ツール・ド・NIKKO2019(15日) | <ul style="list-style-type: none"> 日光杉並木マラソン大会(4日) | <ul style="list-style-type: none"> 第51回龍王祭(26~28日) 全国スポーツ少年団ホッケー大会、今市第二小学校区スポ少女子初優勝(29日) | <ul style="list-style-type: none"> 平家大祭(1~2日) 足尾まつり(3日) | <ul style="list-style-type: none"> 新元号「令和」のスタート(1日)：② | <ul style="list-style-type: none"> すくやか保育園オープン(1日) 弥生祭(13~17日) | <ul style="list-style-type: none"> 映画「宮金次郎」試写会(10日)：① | <ul style="list-style-type: none"> 奥日光湯元温泉雪まつり(2~10日) | <ul style="list-style-type: none"> 日本学生氷上競技選手権大会(4~7日) 成人式(13日) |



③ 各自治体の代表と日光宣言を採択



② 日光市の令和で最初の夫婦になりました



① 出演者による舞台あいさつも盛況